

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月13日			
平成15年度	事業コード	150 07	電話	
担当部課名	生涯学習部	生涯学習	課	相模原市民ギャラリー
事務事業名	相模原市民ギャラリー運営費〔市民芸術活動推進費〕			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 6 章	彩りのある市民文化の創造	事業開始年度
基本施策名	第 1 節	多彩な市民文化の振興	9 年度
施策名	第 1 施策	豊かな市民文化の創造	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市立相模原市民ギャラリー条例、相模原市立相模原市民ギャラリー条例施行規則、美術専門員設置要項、相模原市立相模原市民ギャラリー運営協議会設置要綱

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

なし

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民に身近な美術作品の鑑賞機会を提供することにより、本市の芸術文化のさらなる振興を図る機会とする。 (1)相模原市収蔵美術品を積極的に公開することにより美術愛好者の増加と芸術文化に対する啓発を図る。〔さがみはらあーと(相模原市収蔵美術品展)〕 (2)市内のプロ作家集団の創作活動の現状を広く市民に紹介し美術愛好者の増加を図る。〔相模原芸術家協会展〕	一般市民 対象数 61万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
(1)さがみはらあーと'02「涼を呼ぶ旅と風景展(相模原市収蔵美術品展)」の開催 平成14年8月3日～9月1日(実数32日間) 入場者数2,339人 相模原市収蔵美術品18作品 招待作家5人(7点)合計25作品を展示 *「さがみはらあーと」は〔相模原市収蔵美術品展〕と〔相模原ゆかりの作家展〕の総称。交互に開催。 (2)相模原芸術家協会展の開催 平成14年9月27日～10月15日(実数17日間) 入場者数2,889人 相模原芸術家協会会員43名の作品及び招待作品(弥栄東高校美術科生徒の作品)20点を展示 ワークショップ3回、ギャラリートーク2回開催	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	1日あたりの平均入場者数(人)	合計入場者数÷開催日数	さがみはらあーとの平均入場者数の推移を見る。	92	73	90	100	100
	活動指標 出品作品数(点)	インスタレーション(空間そのものを利用した作品)は1点として計算	さがみはらあーとの展示作品数の推移を見る。	27	36	25	30	25

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	人員・時間数	0.8人	0.6人	0.7人	0.9人	0.9人
	人件費	5,035	3,357	4,196	3,638	3,638
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	6,794	6,387	5,996	7,310	6,638
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数	610,000	610,000	610,000	610,000	610,000
	対象の単位あたり経費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	事業内容(1)相模原市収蔵美術品展(2)相模原市ゆかりの作家展 (1)(2)の交互隔年開催 (3)相模原芸術家協会展(相模原市教育委員会と相模原芸術家協会との共催事業)が主なものであり、いづれも地域性に立脚した相模原市民ギャラリー - の基幹事業である。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある (1)3種の事業とも市民と関係団体のニーズにかなった必要性の高い事業である。(2)展覧会内容は社会事象や世相等を反映して変化に富む。(3)特に団体との共催による事業形態は市の芸術文化振興策の積極的姿勢を示す意味で必須である。
(3)有効性 評価 B ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	前掲(2)の「必要性」に示すとおり有効性が高いが、入場者の増加に改善の余地がある。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 事業内容の「相模原芸術家協会展」は予算面および事務負担率(運営・管理等)の点から大変効率性が高いが、他市や類似事例との比較は困難である。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	当該事業に係る展覧会については入場無料で実施しており、広く市民に公開している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明： 展覧会の内容の研究、工夫により更に高品位で集客性、話題性の高い事業展開が可能である。特に展示だけでなく、関連イベント等による内容充実が考えられる。	手段	相模原芸術家協会展の周知については、同協会が積極的に広報活動を行っており、事業費の削減が図られている。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		(1)収蔵美術品展について、他市では収蔵品を常設展示できる美術館を所有しているところが多く、単純に比較はできない。 (2)本市では、教育委員会と市内の芸術家団体が共催して毎年展覧会を実施しているが、把握している限り、他市での同レベルでの実施例はない。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	(1)本事業は相模原市教育委員会が地域性に立脚し、地域の芸術文化振興策(美術振興事業)の要として位置づける基幹事業であり、将来的にも充実発展させるべき事業と考える。
<input type="checkbox"/>	廃止	(2)特に本事業は将来作家や若手作家の発掘育成という基盤整備的性格を有した事業であり、長期的展望に立った推進体制の堅持が必要であると考える。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--